



PUBLIC
RELATIONS OF
KIMOBETSU

2025
R7

Vol.890

08

AUGUST

特集

多文化共生ってなんだろう？

～共に生きる喜茂別の未来～



6/21 喜茂別保育所運動会

喜茂別保育所で第67回運動会が盛大に開催されました。園児たちは、かけっこやお遊戯などの様々な種目に全力で取り組み、そのひたむきな姿に会場からは温かい声援が送られていました。

町イメージ
キャラクター
ウサバらくん



多文化共生ってなんだろう？ 共に生きる喜茂別の未来

「多文化共生」って、どんなこと？

「多文化共生」とは、異なる国籍や文化を持つ人々が、お互いの文化や習慣を尊重し、理解し合いながら、地域社会の一員として共に暮らしていくことです。単に外国人を受け入れるだけでなく、私たちが暮らす喜茂別町が、多様な文化を持つ人々にとって、より暮らしやすく、安心して過ごせる場所になるよう、共に考え、行動していくことが重要です。

なぜ今、多文化共生が大切なの？

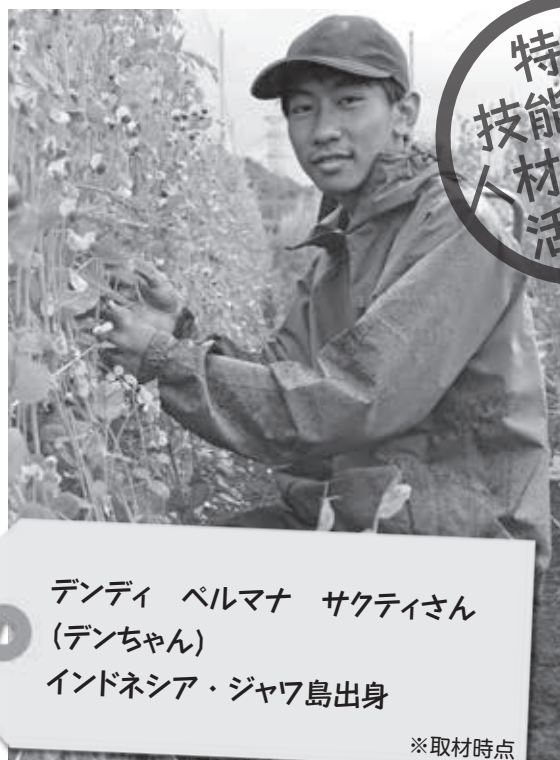
①町の活力を生み出す

多様な背景を持つ人々が町に暮らすことで、新たな視点やアイデアが生まれ、地域の活性化につながります。

②グローバルな視点を育む

国際化が進む現代において、身近な地域で異なる文化に触れることは、私たち自身の視野を広げ、国際感覚を養う機会となります。

私の声 暮らす町へ～ 育む豊かな町へ～



デンディ ペルマナ サクティさん
(デンちゃん)
インドネシア・ジャワ島出身

※取材時点

デンディさんは、来日して約1年。熊本での生活をjて、2ヶ月前に喜茂別へ来ました。来日前には日本語学校で熱心に勉強し、日本での生活に備えてきました。将来の夢は、故郷で果物などを販売する自分のお店をオープンすることだそうです。

喜茂別の生活にも少しずつ慣れ、地域に新しい風を吹き込んでくれています。



アルフィン・ドウィ・アウレラさん
(アルちゃん)
インドネシア・ジャワ島出身

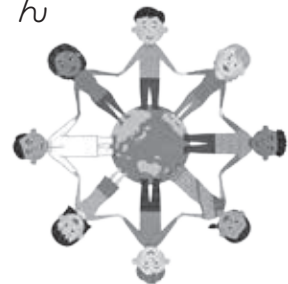
喜茂別町で特定技能外国人材として働くアルフィンさんは、来日して2年目。長野、千葉を経て喜茂別には2ヶ月前に来て就労しています。初めて日本の雪を見た時は大変驚いたそうです。来日前から日本語を学び、日本のアニメ「NARUTO」が大好きだそうです。

将来の夢は、故郷で野菜などを売るお店を開くこと。イスラム教徒のため豚肉は食べず、自炊で故郷の味を楽しんでいます。

喜茂別町では、様々な国や地域から来た人々が暮らしています。令和7年度町政執行方針では、「多様な個性や文化を認め合い、男女が平等に参画し、能力を発揮できる環境」を町民と築くことを目指しています。では、「多文化共生」とはどのようなことなのでしょう？

③誰もが暮らしやすい町へ

言葉や文化の壁があっても、誰もが安心して地域活動に参加し、能力を発揮できる喜茂別町は、私たちみんなにとって豊かな町です。



町の取り組み

町は多文化共生社会の実現に向け、役場窓口の外国語対応を強化しています。翻訳機を活用し、英語、中国語など多言語での対応が可能です。これにより、外国人住民が安心して行政サービスを利用し、地域社会へ円滑に定着できるよう支援しています。

地域でできること、考えてみよう！

多文化共生は、行政だけでなく私たち一人ひとりの取り組みが重要です。地域のお祭りに外国人住民を誘ったり、困っている人に声をかけたり、異文化を学ぶ姿勢を持つことなどが私たちにできることです。



喜茂別町で生活する
外国人住民の方々に
お話を伺いました

喜茂別町で ～異文化交流が～

多文化共生は、 みんなの町の未来

今回の特集で、多文化共生への理解が深まったでしょうか。町が国籍や文化を問わず、誰もが自分らしく暮らせる場所になるよう、私たち一人ひとりが考え、行動することが大切です。



ジョンソン・ヘンリー・ロバートニコ
ラスさん、由佳さん夫妻

ニュージーランド出身のヘンリーさんは2016年に来日し、日本の魅力に惹かれ定住。2019年から喜茂別で暮らし始めています。

福岡出身の由佳さんは海外生活が長く、英語、中国語、フランス語が堪能。俱知安町でヘンリーさんと出会い、結婚を機に喜茂別へ移住し「通過されるだけでなく、滞在してもらえる町に」と願っています。

ヘンリーさんは「今もカルチャーショックの連続で楽しい」と語り、特にFAXや印鑑など日本のアナログ文化に驚いたそう。行政手続きの不便さを感じつつも、町の人々からの挨拶が増え、「喜茂別の一員になった」と実感しています。

「外国人やタトゥーに怖いイメージがあるかもしれませんが、私たちは怖くありません」と笑顔で語るご夫妻は、国際的な視点から喜茂別町に新たな魅力を加えています。

【この記事のお問い合わせ先】

まちづくり振興課
まちづくり振興係

電話:33-2211
I P :33-5005

まちの できごと

2025. 6月▶7月

6/14
・15

2025 しりべし 結愛フェア in きもべつ 後志の特産品が大集結

町内や後志の多彩な特産品が並び、会場は多くの来場者で賑わいました。旬の味覚や魅力的な品々を求めて、皆さん買い物や飲食を存分に楽しんでいました。



6/17

札幌国税局より感謝状授与 国税電子申告・納税システム(e-Tax) による確定申告推進に寄与

町は、国税電子申告・納税システム(e-Tax)を利用した確定申告の推進を通じて、住民サービスの向上と行政の効率化に貢献したことにより、札幌国税局から感謝状が授与されました。



6/21

無事故の日 街頭啓発 ムジコ 6月25日は625の日

交通安全母の会が「交通安全は家庭から」の横断幕を掲げ、郷の駅で来店客にチラシを配布し、交通安全を呼びかけました。



6/24

令和7年度総合防災訓練 災害時を想定し連携訓練

総合防災訓練の一環で、鈴川基幹集落センターから喜茂別中学校へ、自衛隊車両による緊急輸送訓練を実施しました。この他にも個別避難訓練、NTT東日本株式会社による安否確認サービス電話体験訓練、河川の水位上昇を想定した吉田地先樋管の閉鎖、排水処置などの実動訓練や役場庁舎停電時の応急復旧訓練を実施し、多くの手順を確認しました。



7/4

社会を明るくする運動 犯罪や非行のない地域社会へ

「社会を明るくする運動」キャラバンが役場を訪問しました。犯罪や非行防止、罪を犯した人々の更生への理解促進を訴え、犯罪のない地域社会の実現を願うメッセージを伝えました。



健(検)診、受けましたか？



今年度のスマイルセンターニュースでは、生活習慣病に関する情報として、病気の発症から進行の過程、他の病気との関わりなどをお伝えしてきました。こうした病気への予防策として健診は大切です。

町では、下記のとおり集団健診を実施しますので、未受診の方はぜひこの機会をご利用ください。

10月

【きもべつはつらつ健診】

実施日 10月7日(火)、8日(水)、9日(木)

場 所 健康増進センター

検査内容 特定健診／基本健診
がん検診(肺・大腸・胃ほか)

申込期限 9月4日(木)まで



11月

【女性の総合健診】

実施日 11月7日(金)

場 所 健康増進センター

検査内容 特定健診／基本健診
がん検診(肺・大腸・胃・子宮・乳ほか)

申込期限 10月7日(火)まで



子宮がん・乳がん検診も一緒に受けられます！

【なぜ健診は大切なのか？】

健診は、病気の予防・早期発見・早期治療につながる重要な機会です。高血圧や糖尿病、がんなどは初期には自覚症状のないものも多く、健診で異常に気づくこともあります。

また、自身の体の状態を確認することで、生活習慣を見直すきっかけにもなります。健診を受けることは、将来の健康への投資です。家族のためにも、ご自身のためにも、年に一度の健診を忘れずに受けましょう。

健診だけではなく、健康に不安のある方には個別の健康相談も実施しています。
ご希望の方は、下記までお気軽にご連絡ください。



【お問い合わせ先】 元気応援課健康づくり係 電話(IP):55-5101

来てみませんか？ハチマル体操

ハチマル体操とは喜茂別町が提供している介護予防事業です。80歳を迎えても、元気に自分らしく過ごせることを目標に取り組んでいます。リハビリ専門の資格と知識をもつ講師たちが、今の状態に合わせた運動を楽しく指導してくれます。簡単な動きなので、ご自宅で継続しやすいのも魅力です。

自分の足で歩き続けたい！畑仕事を続けたい！最近不調を感じている、運動不足を解消したい…などなど、目標やお悩みがある方はぜひ一度ハチマル体操に来てみませんか？

場 所 ふれあい福祉センター 集会室

時 間 ①10:15～11:45 ②13:00～14:15 ③14:30～15:30

曜 日 毎週月曜日・木曜日 (月2回オンライン開催)

※必要に応じて、タオル・飲み物をご持参ください。

喜茂別町にお住まいの方はどなたでもご利用いただけます。

ご予約は不要です。ご友人・ご家族お誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

ご不明な点があれば下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 元気応援課福祉係 電話(IP):55-5101



移転しました

このたび、元気応援課、子育て支援センター、教育委員会は、8月4日(月)より新しい拠点へ移転し、業務を開始しました。

子育て世代の町民の皆様をサポートする機能を一箇所に集約し、関係部署間の連携をより強化することで、町民の皆さまへのサービス向上を目指してまいります。

【元気応援課】 【子育て支援センター】

移転先 喜茂別町喜茂別15-1
ふれあい福祉センター

電話(IP)番号 55-5101
FAX番号 33-3000

(健康づくり係 福祉係 子育て支援センター 全て共通の番号になります)



【教育委員会】

移転先 喜茂別町喜茂別13番地
健康増進センター 2階
(スマイルセンター)

電話番号 33-2203
IP 番号 33-5100
FAX番号 33-2889



地域おこし
協力隊だより

● 地域おこし協力隊

たかはし りく
高橋 理矩さん

地域とともに育む、アウトドアの拠点へ!



喜茂別町の自然を活かした新たな魅力づくりとして、キャンプ場「市ヶ原パークキャンプサイト」の運営を始めました。地域おこし協力隊として活動する中で企画・整備から運営までを手がけ、誰でも気軽にアウトドアを楽しむ場所を目指しています。今後も地域と連携しながら、観光や交流の場として育てていきます。



お知らせ

介護保険料(普通徴収) 納入期限のお知らせ

令和7年8月の介護保険料(普通徴収)第2期の納入期限は次のとおりです。
※年金から徴収されている方(特別徴収)に関しては該当しません。
忘れずに納めましょう！

■納入期限 8月25日(月)
■お問い合わせ先
元気応援課福祉係

電話：IP番号 55・5101

後志広域連合介護保険課

電話 55・8013

8月は「北方領土返還 運動強調月間」です

ロシアによつて不法占拠されている北方四島(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島)の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。国民一人ひとりがこの問題について正しく理解し、国民世論を盛り上げ、政府の外交交渉を支援していくことが大切です。

喜茂別町では、北方領土返還運動強調月間に合わせ役場正面玄関入口横に「北方領土返還要求署名「ノーナ」」を設置しておりますので、来庁時にはぜひ署名活動にご協力ください。

令和7年国勢調査を 実施します

国勢調査は、令和7年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。9月下旬頃から、調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類をお配りします。回答は、スマホやパソコンからかんたんに便利なインターネットで(郵送も可能)お願いいたします。スマホからの回答は、QRコードを読み取ることで簡単にログインできます。IDやパスワード(アクセスキー)の入力は不要です。国勢調査の結果は、国や地方公共団体だけではなく子育て支援への利用、防災対策への利用、企業等での利用など、わたしたちの身近な暮らしに使われています。

■お問い合わせ先

まちづくり振興課

IP番号 33・5005

どさんこ・子育て 特典制度

道では、子育てにやさしい環境づくりの推進のため、協賛店舗で特典サービスを受けられる取り組みを実施しています。

■対象

・道内在住の妊娠中の方

・令和7年7月〜拡充18歳到達後の年度末までのお子さんのいる世帯

■利用方法

協賛店舗で特典カードを提示します。

※既存のカードも引き続き利用可能です。

※新たに特典カードを希望する方は、お子さんの年齢が分かるもの(健康保険証等)を持参の上、ふれあい福祉センター内元気応援課へお越し下さい。

社センター内元気応援課へお越し下さい。

■お問い合わせ先

北海道保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課

電話 011・206・6309

第42回 共和かし祭 『かかし』大募集

■イベント期間

令和7年8月24日(日)

■会場

共和町憩いの広場(共和町役場庁舎裏)

■出展規定

①製作料・作品1体につき、3000円を補助します。

②受付 8月23日(土)午前9時〜正午

(共和町生涯学習センター)

注)出品した作品は8月25日(月)正午までに引取願います。

③出品基準 アイデア・ユーモアにとんだ伝統・現代・動くものなど、かかし祭にふさわしいものとします。

④審査

8月23日(土)午後1時から審査委員会を開催し各賞を決定します。

⑤部門、各賞

一般団体の部、一般個人の部、少年少女の部、広告の部

各賞

グランプリ、特選、準特選、入選など

(1000円〜500000円)

⑥抽選会

共和町合併70周年を記念し、入選以上

の入賞者の方から抽選で豪華賞品が

あたる抽選会を実施します。入賞者は祭当日の10時30分頃より抽選を行い当選者を発表しますので、ステージ付近へお集まりください。

■お問い合わせ先

共和かし祭実行委員会

(事務局:共和町役場産業課商工観光室)

商工観光係

電話 0135・67・8778

アイヌの方々からの様々な ご相談を受けします

日常生活でお困りのこと、嫌がらせ、差別など何でもご相談下さい。

■アイヌの方々のための相談専用フリーダイヤル

電話 0120・771・208

■受付 月曜日〜金曜日

(※祝日、12月29日〜1月3日を除く)

■時間 午前9時〜午後5時

●相談無料 ●匿名可 ●秘密厳守

公益財団法人

人権教育啓発推進センター

〒105・0012

東京都港区芝大門2・10・12

KDX芝大門ビル4階

◆本相談事業は、(公財)人権教育啓発推進センターが、厚生労働省生活相談充実事業により実施するものです。



まちのカレンダー

救急当番病院 農 農村環境改善センター 鈴川集落センター ふれあい福祉センター
 町立クリニック 笑み～な 健康増進センター 喜茂別町武道館 ちびっこ広場
 俱知安文化センター 岩内町高台84-3 ☎0135-62-8373 留産管理棟
 町民公園パークゴルフ場 喜茂別中学校 喜茂別小学校
 喜茂別保育所 双葉克雪管理センター 町民プール 図書室 町営球場

8月

1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水 岩 しりべし弁護士相談(事前予約)
7	木
8	金
9	土 第27回 きもべつ夏まつり
10	日 第27回 きもべつ夏まつり
11	祝
12	火
13	水 運転免許更新時講習
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火 中 始業式
20	水 小 始業式 岩 しりべし弁護士相談(事前予約) 運転免許更新時講習
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水 岩 しりべし弁護士相談(事前予約) 運転免許更新時講習
28	木
29	金
30	土
31	日
9月	
1	月
2	火
3	水

土 日 祝 救急当番病院

俱知安厚生病院

8月19日(火)「バイクの日」

「バイク」の語呂合わせから、1989年に政府(総務庁交通安全対策本部)が交通事故撲滅を目的に制定しました。バイクの安全運転啓発と、二輪車の有用性や魅力を伝えるための日とされています。バイクに乗る方は、楽しく安全に運転しましょう!

今月の
〇〇な日

四季の歌

喜茂別短歌会

短歌を楽しむ仲間を募集!

一緒に短歌を詠んだり、鑑賞しませんか?初めての方もお気軽にご連絡ください。
 (桑原・電話33,2079)

時間忘れ草取りをする遅くまで沈まぬ太陽今日は夏至なり

次々と咲きくさる花撮影したいのになぜ充電切れで

庭仕事足腰弱り出来ぬ身に出来ない妻が頼れる妻に

短冊や色紙沢山頂きて早速筆字で短歌を書きたり

ご褒美は駄菓子屋さんね苦笑い今歯医者さんで治療中です

桑原博美

三間恵子

村上正彦

佐藤百合子

松岡忍

6月22日(日)



陸上自衛隊俱知安駐屯地創立70周年記念行事でパレードしてきたパラ!おともだちに会えてうれしかったパラ!



人口と世帯

令和7年
6月末現在



人口 男 990人 (前月比+28人)
 女 944人 (// +2人)
 合計1,934人 (// +30人)
 世帯数 1,200世帯 (// +29世帯)
 うち外国人住民 131人 (// +24人)

広報 きもべつ

2025年8月
vol.890

[発行] 喜茂別町
 電話:0136-33-2211(代) FAX:0136-33-3577
 URL: https://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp
 E-MAIL: info@town.kimobetsu.lg.jp

[編集] 一般社団法人 きもべつ観光協会
 電話:0136-33-3122
 FAX:0136-55-8775

住所: 虻田郡喜茂別町字喜茂別293番地1
 地域振興センターみらい

広報きもべつに関して、お気軽にお問い合わせ下さい。